

日本機械学会 第9回生産加工・工作機械部門講演会 報告書

修士2年 一條 陵平

私は9/27～9/28に秋田県立大学本荘キャンパスにて開催された日本機械学会第9回生産加工・工作機械部門講演会に参加してきました。

会場の秋田県立大学本荘キャンパスは千葉からはとても遠く、千葉から片道6時間以上かかるため、移動だけでも大変でした。

本荘キャンパスは広大な敷地の中央に大きな共通施設棟が建っており、そこで講演会が行われました。キャンパスの周辺には何もなく、最寄りのコンビニまで徒歩で10分以上かかるという環境で驚きました。

初日には横澤君の発表するレーザ応用加工のセッションを聴講しました。学生の発表が多く、皆研究成果を堂々と発表できており、私も見習わなければと感じました。

私は二日目のナノ加工と表面機能というセッションで「LIPJI法を用いた材料表面への光触媒材料の固定化」という題目で発表させていただきました。私は今回が初めての学会発表で、かなり緊張していたため、事前に練習していたときよりも早口になってしまったり、説明しようと思っていた部分を少し飛ばしてしまうなどの細かい反省点はありましたが、大きなミスはなく発表できたと思います。このセッションではレーザ応用加工のセッションとは違い、各大学の先生方の発表が多かったです。さすがに学生の発表と違い、場慣れたレベルの高いプレゼン内容でした。また、同じセッションで東北大の学生が噴射加工で薄膜を作る研究を発表していて、自分の研究テーマに近いものであったため特に興味をもって聞くことができました。

最後に、本学会の参加の機会を与えてくださるとともに、準備において多くのご指導を頂いた森田先生、比田井先生、松坂先生、斎藤さんに厚く御礼申し上げます。また、準備に協力していただいた5分野の皆様にも感謝の意を示したいと思います。ありがとうございました。



秋田県立大学前にて